



議 会 だ よ り

松 崎

No.128

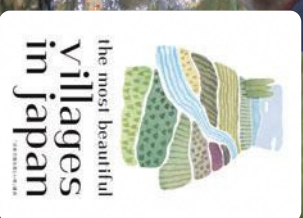
令和2年7月16日

「那賀川での川遊び」

《主な内容》

第2回定例会（6月9日～6月11日）

- 令和2年度一般会計補正予算 2
- 令和元年度企業会計決算 3
- 議員会町内視察 5
- 町政を問う 一般質問に6議員 6



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

令和2年6月定例会

令和2年第2回定例会が、6月9日から11日までの3日間で開催されました。
本定例会では、令和2年度補正予算案など17議案について審議を行い、原案どおり可決・認定しました。

一般会計補正予算

補正予算(第5号)は、歳入歳出にそれぞれ1億1701万9千円を増額し、補正後の額を44億9433万7千円とするもので、新型コロナウイルス感染症の影響から資金繰りが悪化している伊豆まつぎ荘事業会計への貸付金や、加温ボイラーに不具合が生じている旧依田邸温泉施設の整備改修工事費などが、新たに計上された。

問 岩科診療所開設について、町から持ち出す財源が増えた。開院後は赤字補填も見込まれるが、新型コロナウイルス感染症

症の影響による不確定要素が多分にある。延期する考えはないのか。

答 町長 財政のやりくりは十分可能。条例も議決され、県の補助金も決まっている。ここでやめると県からの信用を失う。コロナ対策には全く影響なく進められると確信しており、公共投資による経済対策にもなる。

問 職員の業務量が多く、体調を崩し長期休暇中の職員もいる中で、今は診療所を延期し、新型コロナウイルス感染症対策に人員を割くべきではないのか。

答 総務課長 コロナ対策は今いる職員の中で、課・係を越えた応援体制

を整え十分対応できている。

問 旧依田邸温泉施設整備改修工事費600万円が計上されているが、昨年度も補正で480万円を計上し工事を行っている。どういふことなのか。

答 企画観光課長 昨年度の修理はボイラーの老朽化した配管を修繕したもので、今回の600万円は、温泉施設改修工事完了後に不具合が発生したボイラー本体の交換をするもの。

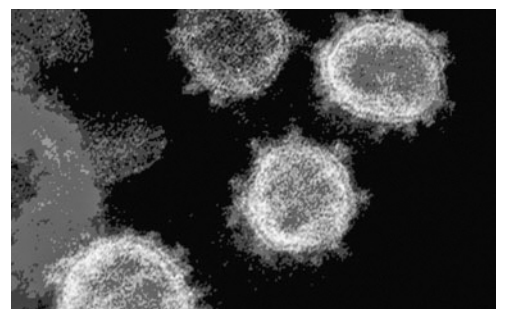
問 新型コロナウイルス感染症の影響で、資金繰りが厳しくなっている伊豆まつぎ荘へ、1億円の貸し付けを行うという説明だが、今後さらに資金繰りが悪化した場合も追加で貸し付けるのか。

答 企画観光課長 万が一資金不足が生じた場合は、追加での貸し付けもあり得る。しかし今回の貸し付けは1億円と破格

の額であり、収入を上げないことには返済もできない。再度の資金不足とならないよう職員の意識改革を含め、経営の見直しを行っていく。

問 幼稚園などの新型コロナウイルス感染症防止対策として、次亜塩素酸水生成機、噴霧器の導入予算が計上されているが、効果が無いとも聞かす。

答 健康福祉課長 新型コロナウイルスの消毒薬を目的として利用が広まっている。次亜塩素酸水については、独立行政法人製品評価技術基盤機構が、現時点では有効性は確認されていないと公表したことから、波紋が広がっている。国立感染症研究所や大学の研究では効果が認められた例もあり、新型インフルエンザやノロウイルスへの効果は確認されている。導入にあたっては、これらの経過を注視していきたい。



猛威を振るう新型コロナウイルス

問 広域ごみ処理事業策定業務委託費の内容は。

答 生活環境課長 トンネルコンポスト方式の安全性、安定性、経済性、環境負荷などを評価し、最終的に焼却方式と比較、1市3町の広域化の検討材料とするもの。

トンネルコンポスト方式とは
可燃ごみを粉砕し、発酵、乾燥させて固形燃料の原料としてリサイクルする。

令和元年度 企業会計決算

決算の概要は、広報まつぎ7月号をご覧ください。

水道事業

総収益は、一般家庭における節水機器の普及や

営業使用などにおいて、使用水量の増加に伴う超過料金が増加したことから、前年度比125万9千円増の1億4190万9千円となった。

一方、総費用においては、支払い利息や減価償却費の減少により286万8千円減の1億346万8千円となり、差し引き純利益は722万3千円を計上した。

問 過年度未収金914万円の回収に向けてどんな取組みをしているのか。また未納者には給水停止

の措置をとるのか。

答 生活環境課長 過年度未収金については50人分であるが、うち3名分が高額滞納者である。対策としては訪問徴収を行っているが、応じない場合は給水停止予告をした上で給水停止を行う。決算年度中5件の給水停止を行った。

問 施設が老朽化し更新に多額の費用が見込まれる一方で、給水人口減少による収益の減少が想定され、将来経営が厳しくなるのではないか。料金の値上げは考えているのか。

答 生活環境課長 収益が減少していく中で、施設を改修するためには、料金改定が必要である。

水道事業ビジョンの中でも、令和2年度中に料金改定の諮問、答申の考えはあるが、今は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、慎重に判断していく。

温泉事業

総収益は6134万1千円で、権利放棄や休止件数の増加により供給収益が減少したものの、鮎川地区建設発生土搬入事業に係る支障物件移転補償費用の増加により、前年度比75万円の増となった。

一方、総費用においては量水器取替えによる委託料および資産減耗費の増加などにより79万3千円増の5380万円となり、差し引き純利益は754万1千円を計上した。

問 温泉を浴用に限らず、農業などに活用する考えはないのか。

答 生活環境課長 現在相談を受けている案件があるが温泉の量、温度などの問題があり、実現には至っていない。可能性について検討していく。

まつぎ荘事業

今年度の宿泊客数は、相次いだ台風の影響や、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による外出自粛の影響もあり1万9596人で、前年度比762人の減となったほか、忘新年会や法事などの会食利用者も減少し、大変厳しい結果となった。利用人員が減少した結果、事業収益は1016万7千円の減収となり、1085万8千円の赤字決算となった。

累積欠損金は、2億895万9千円に膨らんだ。

問 毎年、食事メニューを改めると言っているが、どのようなコンセプトのもとに料理を変えていくのか。

答 町長 郷土料理に加え、魚関係を中心に洋食、和食、中華を組み合わせたものを提供したい。春夏秋冬それぞれ地元食材を使い、松崎らしさを出していきたい。



コロナ禍で、旅館中の伊豆まつぎ荘

問 昨年料金の値上げをした際、料理、接遇の改善を行うと言っていたが、会食の人数は減っている。料金値上げ分の収入も増えるはずであるが、赤字幅は大きくなっている。料金値上げは、失敗ではなかったのか。

答 町長 失敗したとは思っていない。近隣の旅館、ホテル、国民宿舎と比較しても料金設定が低かったため、適正な価格に引き上げたが、結果的にマイナスとなった。体的には利益を上げられる体質に変化してきている。

条例・決議

今定例会では、予算決算のほか9件の条例・決議案が提出され、いずれも原案のとおり可決した。主なものは次のとおり。

◎松崎町税条例の一部を改正する条例（新型コロナウイルス感染症の影響により収入が大幅に減少した場合徴収を猶予・公布の日から施行）

◎松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（医療分に係る賦課限度額を2万円、介護分を1万円引上げ・令和2年度分の保険料から適用）

◎松崎町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例（新型コロナウイルス対策財源確保に向け、7月～3月の議員報酬と12月の期末手当を1割カット・議員発議）

◎岩科診療所建設工事の延期を求める決議（新型コロナウイルスで痛手を受けた経済再生を優先する観点から延期を求めるもの）

第3回臨時会

副町長選任案否決

5月20日に開催された第3回臨時会では、法律等の施行により関係する町条例に改正の必要が生じたことから専決処分した2件の条例改正と、新型コロナウイルス対策関連で専決処分した4件の補正予算について承認を求められ、いずれも原案のとおり承認した。長鳴町長就任以来不在となっていた副町長に、前統括課長を選任する人事案が提出され、無記名投票により採決が行われたが、賛成2票、反対4票、白票1票の賛成少数で否決となった。

第3回臨時会・第2回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	議員							議決状況
			田中道源	鈴木茂孝	小林克己	深澤守	渡辺文彦	高柳孝博	土屋清武	
第3回臨時会	議案第28号	専決処分の承認を求めることについて（松崎町税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第29号	専決処分の承認を求めることについて（松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第30号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度松崎町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第31号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度松崎町一般会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第32号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度松崎町一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第33号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度松崎町一般会計補正予算（第4号））	○	×	○	○	○	○	○	承認
	議案第34号	副町長の選任について	無記名投票（賛成2）							不同意
第2回定例会	議案第35号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	松崎町職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第37号	松崎町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	松崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	令和2年度松崎町一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	令和2年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	令和2年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	令和元年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第46号	令和元年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	令和元年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第48号	令和元年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	令和元年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	発議第1号	松崎町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	決議案第1号	岩科診療所建設工事の延期を求める決議について	○	○	×	○	×	×	○	原案可決

賛成：○ 反対：×

工事の効果などをチェック 議員会町内視察

5月27日、議員会は、令和元年度に施工された工事箇所の中から12カ所を選定し、現場視察を実施した。

また、不具合が発生している旧依田邸温泉施設の加温ポイラーについても併せて現地確認を行った。

主なものは次のとおり。

◎松崎町立小中学校空調

設置工事（宮内・江奈）
（工事費13110万円）

児童、生徒の熱中症対策、学習環境の改善を図るため整備された。小学校13台、中学校7台が普通教室に設置された。整備された教室が少なく、新型コロナウイルスでクラスを分けた場合などの対応が困難である、特別教室など、引き続き整備を検討されたい。



エアコンが整備された教室（松崎中学校）

◎長八美術館外構修繕工事（南区）

（工事費259万円）

長八美術館前の瓦を敷き詰めた前庭部分が、雨天時すべりやすく危険であったため、すべり止めを施工した。防滑工（クリアグリップ工法）278㎡。

来館者の安全が確保されたが、全体的に施設周辺が汚れており、水が溜

まる部分や、瓦が割れている部分などがある。日頃の見回り、点検整備を徹底されたい。



すべり止めを施工した前庭（長八美術館）

◎旧依田邸温泉施設整備

改修工事（大沢）
（工事費5554万円）

道の駅花の三聖苑パーク構想、旧依田邸エリアの整備の一環として、温泉施設の改修工事を行った。過疎対策事業債3500万円、観光地域づくり整備事業費補助金1580万円などを財源に、木造平屋建、建築面積413㎡の整備をしたもの。風呂場はきれいに整備

されているが、休憩施設が整備されていないため、せっかくの来訪者に不満が残る可能性がある。新装オープンなので、備品も新品にするなど来訪者の満足が得られるよう配慮が必要である。

また、今回の工事の範囲外であるが、加温ポイラーから漏水があるなどの不具合が生じており、今後の施設の維持修理費用の発生など懸念される。



整備された温泉施設（旧依田邸）

一時金支給を 申し入れ

新型コロナウイルス経済対策

4月16日、町内の経済6団体と飲食店代表者から、新型コロナウイルスへの経済対策を求め、町と議会に要望書が提出された。町長が一時金支給に難色を示したことから、翌17日には町内事業者が窮状を訴えに議会を訪れた。

これを受け、議会では同日、早急に一時金を支払うよう町長に申し入れを行った。



窮状を訴える事業者

町政を問う

問

コロナの影響と対策は

答

国県と町独自の支援で



高柳孝博 議員

問 町の産業への影響は。

答 (町長)

観光業への打撃は大きいですが、休業の飲食店は5月18日から、宿泊施設は6月から再開としている。

問 休業など町の現況に対して各支援策の受援状況と評価は。

答 (町長)

緊急事態宣言に対応すべく第1回の事業所支援給付金は商工会、観光協会と連携してスピード重視で対応し、その後、静

問 総合計画の見直しは

答 社会動向を見ながら

問 生活の変化に合わせて総合計画の見直しが必要ではないか、ポストコロナをどう考えるか。

答 (町長)

ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた「新しい生活様式」への変貌が求められている。これらは総合計画の運用で対応していく。

問 ICT教育環境は

答 令和2年度に導入予定

問 ギガスクール構想の導入計画は、またハードソフトの選択はどう決めていくか。

答 (教育長)

事業が前倒しになり令和2年度中に整備するように学校の通信機器環境改善のための予算計上の準備をしている。

問 遠隔での非対面の授業の考え方は。

答 (教育長)

文科省は教師と直接対面していない場合でも正式な授業に参加しているものとして参加授業数の一部に認める措置を検討している。

問 ICT教育の受け入れ準備をどう考えるか。

答 (教育長)

児童生徒に一人1台端末の配備に伴い、学校に

おいても事前準備を整えていく。

自宅で学習することも想定しており遠隔授業もスムーズに行われるような体制づくりを考えている。

答 (教育委員会事務局長)

ネットワーク環境を整え難い家庭には携帯電話の回線を使ったモバイルルーターを貸与し、公費で負担するように文科省で決まっている。



ICTの活用 (遠隔で生徒総会を行う松高生)



様々な給付金事務を担う企画観光課



鈴木 茂孝 議員

問 コロナ対策は充分か

答 職員一丸となり対応

問 町の事業所支援給付金について、当初は支給に否定的と報道されたが支給となった経緯は。

答 (町長) 当初から町は支給しないとは言っていない。一軒ずつ回って実態を把握して支給を決定した。

問 給付金について新聞報道に間違いがあるとして静岡市の新聞社に抗議に行ったが、新型コロナウイルス対策で多くのやるべきことがある中で最優先して行くべきことだったのか。

答 (町長) 最優先としたわけではないが、間違いを言わなければ禍根が残る。公平に報道をしてくださいと申し上げた。

問 連休後の町の休業要請の方針が急に変更されたがどのような考えか。

答 (企画観光課長) 県の休業要請が延長されたことに伴うもの。

問 西伊豆町では休業要請の再延長が切れ目なく行われたが、松崎町は1日遅れてしまった。町長の情報収集および危機管理能力、判断の速さの問題があるのではないのか。

答 (企画観光課長) 休業要請が1日遅れてしまい事業者には大変ご迷惑をおかけした。自分たちの判断が甘かったと認識している。

問 宿泊業は町の重要な産業である。今後さらに支援していく考えは。

答 (町長) 国の支援策や町のプレミアム商品券を活用して支援していきたい。

問 町長の役割とは

答 満足度の高い町に

問 町長は職員の能力を最大限引き出し、働きやすい環境を整える役割がある。職員が3名も長期休暇している異常な状況をどう考えるか。

答 (町長) 特に役場の体制が悪いからとは考えていない。

問 議案に反対した議員に対して町長が暴言を吐くなどの行為があったが。

答 (町長) 町長としてふさわしくない発言であり謝りたい。

問 6月1日からパワハラ防止法が施行された。議員だけではなく職員に対してもそのような行為はしていないか。

答 (町長) 全くしていない。

問 休校のルール化を

答 細かく検討中

問 今後再び感染が流行した時に備えて、臨時休校についてルール化する必要があると考えるが。

答 (教育長) 今まででは賀茂郡全体で休校していたが、市町別や感染経路が明確かなどで細かく検討をしている。

問 コミュニティバス運行

答 具体的に検討



小林 克己 議員

問 自主運行バス（東海バス）に運行委託金285万8千円を支出している。寿タクシー事業や買い物支援事業なども含め、公共交通としてコミュニティバス（ニティバス）の運行を考えてみてはどうか。

答（町長） バスの乗降調査の結果を検証し、利用者が少ない時間帯について減便した。今後も、新しい公共交通のあり方について具体的に検討していく。

問 現状、空白地域と考えられる伏倉・石部・船田・門野などへの需要を調査すべきではないか。町としての考えは。

答（町長） 住んでいる人にも住みにくい地域と思う。コミュニティバスを住民がどのように考えているのか。ニーズがあるのか。ニーズを捉えて対応していく。

問 町を取り巻く状況の変化に対応すべく経済戦略監を設立・起用すべきではないか。

答（町長） 新しい公共交通のあり方について検討する経済戦略会議などの組織づくりが必要と思う。

問 当町の働き方改革は

答 負担軽減が必要

問 警備業務委託は今年度から実施するのか。

答（町長） 町長になる前から役場職員が宿直業務を行うことに疑問を感じており、職員の健康維持や働きやすい環境づくりを第一に考えたもので、他の市町の状況を見ても職員が行っているところはほとんどない。このような理由から、本年度予算に計上し実施すべく準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症対策により予算の組み替えが必要となっ

問 良好な業務環境を整えるため職員が提案を考えた時、当町はどのような対応をしているのか。

答（総務課長） 役場内部に職員からの改善提案に制度を設けている。

問 業務委託されているシルバー人材センターの方々が、業務環境の改善を考えた時はどのような対応をしているのか。

答（健康福祉課長） シルバー人材センターの方々については、事務局長と相談しながら検討している。

問 今後の松崎の公共交通は（自動運転の実証実験）



これからの松崎の公共交通は（自動運転の実証実験）



コロナ対策のため診療所工事は延期になりました。



田中道源議員

問 診療所の延期は

答 協定書確定後に着工

問 今議会前に議員5名で①協定書が決まってからの着工②新型コロナウイルス対策を優先して延期の2点を申し入れたが。

答 (町長)

協定書を決める都合での延期はあり得るが、新型コロナウイルス対策のために延期するつもりはない。

問 今後、協定書の合意形成はどのように進めるのか。

答 (健康福祉課長)

6月中旬に何度か地域医療振興協会と行う。議会でも議論の機会を設け起債の同意を得ていく。

問 過疎債を申請する上で、万が一振興協会との協定書が決まらない、もしくは議会で起債の同意が得られず申請取り下げを国に伝える場合、期限はいつまでか。

答 (健康福祉課長)

7月中旬に県が同意する。同意前の取り下げであれば、県が他の市町に

割振ることができる。

問 今回診療所を延期して、今後のコロナ対策として①国や県が負担できない時の休業補償用に財政調整基金を投入せざるを得なくなる。②今後の経済対策として有用な地域通貨の整備。③感染者発生後の迅速な対応をするためのQRコードを利用した追跡システムの整備を必要と考えるがどう思うか。

答 (町長)

現状で、診療所を止めなくても、十二分に新型コロナウイルス対策ができていますと考えている。

問 花畑の寄附に控除を

答 税法上は難しい

問 花畑開催するにあたり寄附をいただいた方への税金控除はできないか。

答 (企画観光課長)

税法上は難しいが、ふるさと納税という形を花

畑実行委員会と官民共同で検討していく。

問 任期中の副町長選任は

答 困難である

問 前統括課長が適任であると思いつながら、適任者がいないと答弁し、副町長不在の期間を町民に強いて、退職まで全うさせることを優先したことは公私混同ではないか。

答 (町長)

公私混同だとは思っていない。

問 公職に就くものは一人の課長の事情以上に全町民の運命を背負っている自負があるが、「公」と「私」の区別のない町長は辞職すべきでは。

答 (町長)

失礼である。副町長と引き換えに定年まで勤めることを辞めてくれとは言えなかった。

問 コロナ対応の避難所運営は

答 自助・共助による対策で



渡辺 文彦 議員

問 新型コロナウイルスの感染リスクに対応した避難所運営をどのように考えているか。

答 (町長)

新型コロナウイルスの流行を受け、従来の指定避難所に避難する方法以外に安全が確保できれば移動しない、知人宅に身を寄せるなど自助、共助による避難対策を考えている。

町が設置する避難所において、発熱など感染の疑いのある人は別室に案内するなどの対応をする。

ナ対策は。

答 (町長)

この夏、海水浴場を開設しないことは、観光業者にとっては死活問題で、町の経済にも大きな打撃となるので開設する方向で考えている。

観光業者は、関係団体とともに事前に新型コロナ対策の講習会を開き、感染防止に配慮したガイドラインに沿った形で営業することになる。

問 海水浴場開設に当たり、新型コロナウイルス感染者が発生した際の対応策は。

答 (町長)

感染者が発生した場合、厚生労働省の対応指針に基づき対応する。感染者発生時はスピーディーに対応できるよう観光業者とともにガイドラインに沿って対応する。

問 海開きは新型コロナウイルス感染リスクを高め、発生時には観光事業者への風当たりが心配であるが対

応は。

答 (町長)

感染者発生の際には、速やかに感染防止対策をとり不安を取り除く。

また、その際に、不当な差別、偏見を生まないように啓発を行っていきたい。

問 コロナ禍、町民支援は

答 町独自の支援も

問 新型コロナウイルス

は人々の生存権を脅かす事態となっている。観光業者、学生、一人親世帯など支援が必要と考えるが、町の考え方は。

答 (町長)

国、県の支援策などを活用しながら町独自の松崎版「バイ・ふじのくに」をもって観光事業者を支援したい。また、学生、一人親世帯についても、町独自の支援を考えている。



今年の海の安全はコロナ対策も (元年の海上安全祈願式)



インターネットで情報発信を（松崎町HP）

問 新型コロナは天災と思うか

答 天災であり人災である



深澤 守 議員

問 新型コロナ経済対策の支給の判断が遅れたのは、今までの国県に対する対応が原因で、事前の情報収集出来ないという側面があると思うが、これから国県の施策について、事前に情報を収集していく体制をどう整えて行くのか。

答（町長）

国県との情報については、特にどんなやり方であろうというふうなことはないが、国県あるいは国県議会議員ともしっかりと情報が取れるようになっており、松崎町だけが非常に遅れていることはない。

問 インスタグラム、ツイッターなどの新しいPRの取組みについての考えは。

答（企画観光課長）

SNSについては、松崎町のホームページ、フェイスブックなどで発信しており、観光協会からも発信している。

今後インスタグラムなど他の媒体も検討しているが、中身がしっかりと発信出来なければなかなか見てもらえないというワウに繋がらないということもある。中身を精査しながらより発信力の高いものを作っていきたい。

問 ふるさと納税において年間47人しか宿泊の利用がない。増やす施策についての考えは。

答（企画観光課長）

宿泊券とか体験ものをもっと少し充実させていけたら額も上がっていくかと思う。横の連携を取りながらふるさと納税に繋げるかを、もう一度ブラッシュアップしていく必要がある。

問 まつざき荘や民宿などの宿泊施設をワーケーションの施設として活用しはどうか。

答（企画観光課長）

まつざき荘の長期滞在

に繋がるものであり環境整備として誘客に繋げるというのも一つのやり方と考えている。まつざき荘についてはそういったもので誘客をしなければならぬ事情もある。

問 職員の健康不安は

答 把握している

問 役場職員の職場環境については問題ないとの回答であったが納得できない。もう一度虚心坦懐の心で町政に当たるべきであると思うが。

答（町長）

日頃から職員の行動、適性については、把握しているつもりであるが、仕事の量、質については吟味してやっていきたい。



次の定例会は、9月8日(火)からの予定です。

議会のうごき

4月

- 9日 広報編集委員会
旧依田邸エリア活性化実現有志要望活動
(旧依田邸温泉入浴料見直し) 対応
- 16日 広報編集委員会
町内経済6団体要望活動(新型コロナウイルス対策) 対応
- 17日 新型コロナウイルス対策に係る町内事業者との意見交換・一時金支給を町長に申し入れ
- 23日 議会だより第127号発行

5月

- 20日 第3回臨時会
- 22日 賀茂郡町議会議長会(河津町)
- 26日 議会全員協議会
- 27日 議員会町内視察

6月

- 3日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 9~11日 第2回定例会

表紙の写真「那賀川での川遊び」は文化協会写真部より提供。



この人に
聞きました②⑤
松崎高校校長
小林浩明さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎高校の校長先生にお話を伺いました。

松崎高校の課題は何ですか？

生徒数の減少による今後の存続が課題です。西伊豆地区唯一の高校として、地域の皆さんの協力を仰ぎながら中学生に選んでもらえるよう学校の魅力化に努めていきます。

子供達に選んでもらうためにどのような工夫をしていますか？

中学校との一貫教育や伊豆松崎分校との共生・共育を通じ、心豊かたたくましい生徒を育てていきます。また本校では、地域の事を知る授業、「西豆学」を行っており、中学校からの6年間を通じて地域の良さを知り、地域に貢献のできる人物を育てています。進学や就職などでこの地を離れて

も、やがては地元に戻り、地域に貢献する人になってほしいと願っています。

高校ではなにか要望はありますか？

県道へと通じる道に電灯がなく暗いです。また、体育館へ行く際、横切る道には横断歩道がないため、安全面が心配です。他にも、学校に車で入れる道が1本しかないのも災害時に不安です。
(聞き手 編集委員長)

海鳴り

新型コロナウイルスが町の経済に大きな影響を与え、休業要請が解除された今も町の主力である観光にはまだ先が見えない状態が続いています。町では給付金支給やプレミアム商品券の発行、議会では議員報酬削減等を行い地域経済の早期復活に貢献してまいります。さて、5月の臨時議会では町長から提出された副町長選任案が否決されましたが、議会運営上の信頼関係を無視してまでも提出した事が結果につながったと私は思っております。

よく議会と行政の関係は車の両輪に例えられますが、それぞれの考え方が必ずしも一致する訳ではありません。目指す方向が一緒でもタイヤの状態や路面の状況により調整しなければ前に進んでいきません。時にはハンドルを軽く握りスピードをコントロールすることも必要と思えます。

(議長)